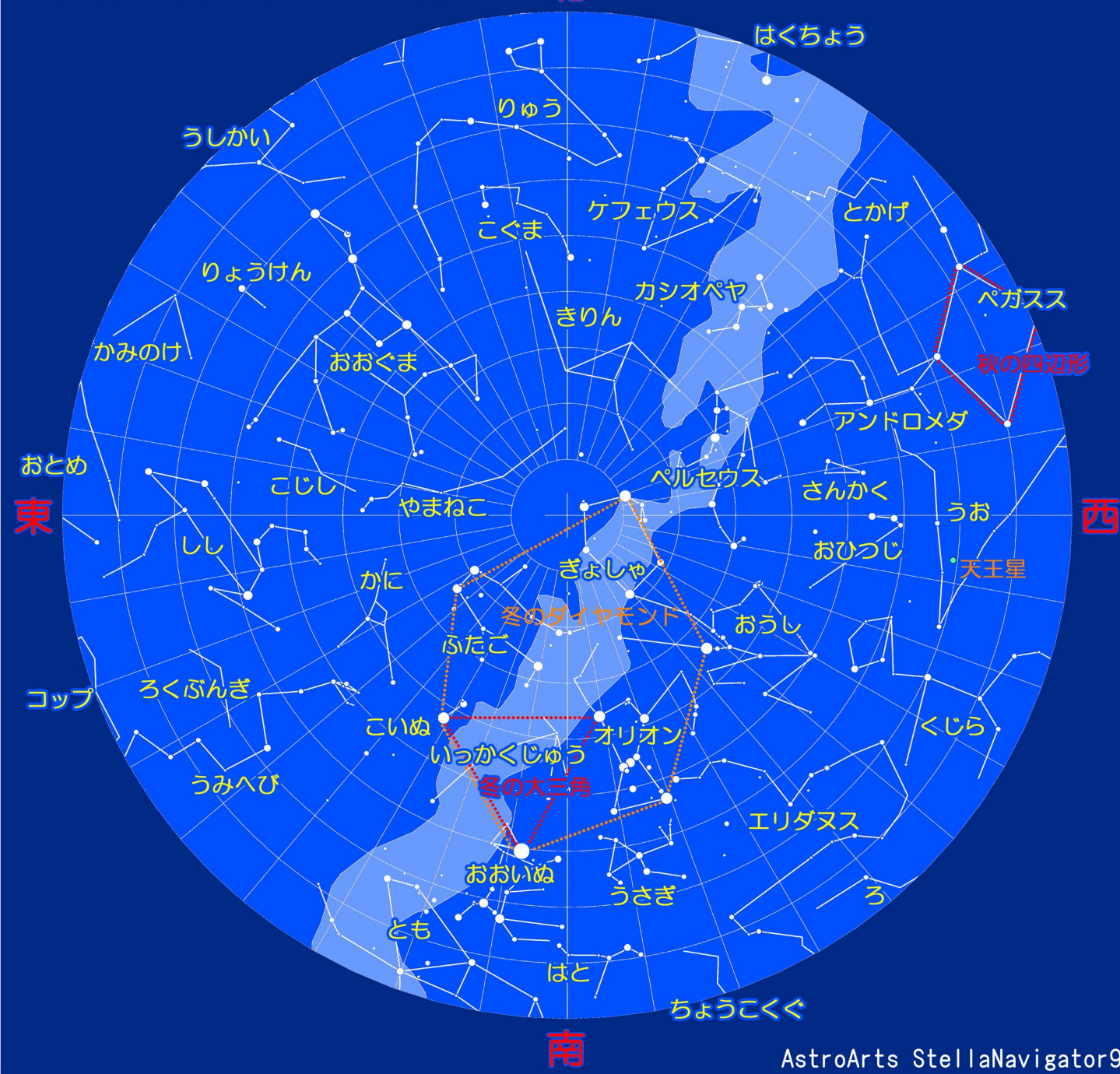




銀河の森天文台 2018年2月みどころ天体情報

2月の星空(15日 20:00頃)

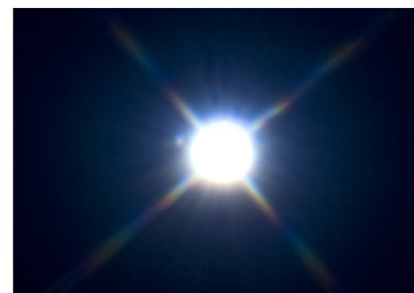


AstroArts StellaNavigator9

今月のイチオシ！ ☆シリウス(恒星)

おおぐま座のシリウスは視等級-1.5等で全天で一番明るい恒星で、オリオン座のベテルギウス、こいぬ座のプロキオンとともに冬の大三角を形作っています。また、シリウスは実視連星であり、左の画像では明るく輝くシリウスA、その左にかすかにシリウスBが写っています。しかし望遠鏡でシリウスBを見ることは難しく、気流の条件の良い限られた日にしか見ることはできません。

距離：約8.6光年



シリウス

月

出 没
8日 ● 下弦 00:10 10:52
16日 ● 新月 06:32 17:17
23日 ● 上弦 10:10 ---:---
天文台から月を見ることができるのは18~28日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

M42(散光星雲)

オリオン大星雲と呼ばれ冬を代表する天体のひとつです。望遠鏡では星雲の複雑な模様を観察することができます。中心部には生まれたばかりの4つの星(トラペジウム)が四角く並んでいます。

距離：約1400光年

M37(散開星団)

ぎょしゃ座にある明るい3つの散開星団のひとつで星の密集度が高く、非常に見ごたえのある星団です。りくろ望遠鏡では、星々が視野一面に広がる様子を見ることができます。

距離：約4400光年

M41(散開星団)

おおぐま座の散開星団でシリウスのすぐ南に位置することから、とても簡単に見つけることができます。7倍くらいの双眼鏡では、シリウスと同一視野に見ることができます。

距離：約2470光年

M82(銀河)

おおぐま座に位置する銀河で、低倍率では近くにあるM81と同一視野に見ることができます。スターバースト銀河とよばれる、非常に活発な星形成が行われている銀河です。

距離：約1200万光年

NGC2392(惑星状星雲)

ふたご座に位置し、毛皮のフードを被ったような姿から「エスキモー星雲」とよばれています。わずかに緑がかった青色が印象的で空の条件が良ければ、フードに例えられた部分も見えてきます。

距離：約1360光年

かに座^{イOTA}(重星)

かに座の右のはさみのところに輝いている二重星で色の対比が美しいことで知られています。黄色い星と青色の星が並んでいる、姿が印象的です。

距離：約298光年

ちょっとマニア

・M67(散開星団)

かに座の散開星団といえば、プレセペ星団(M44)が有名ですが、このM67も見ごたえのある星団です。M44を見たあとには、ぜひM67もご覧ください。

距離：約2350光年

その他おすすめ

- ・M1(超新星残骸)
- ・M35(散開星団)
- ・M44(散開星団)
- ・M45(散開星団)
- ・NGC1514(惑星状星雲)
- ・ベテルギウス(恒星)
- ・うさぎ座R星(恒星)

2・3月の銀河の森天文台カレンダー

2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28				25	26	27	28	29	30	31

開館時間

14:00~22:30
(4月~9月)

13:00~21:30
(10月~3月)

休館日